

令和 6 年度 学 校 自 己 評 価 シ ス テ ム シ ー ト（武南高等学校）

目 指 す 学 校 像	豊かな人間性の確立を目指し、学力の向上、健康な心身の育成を図り、志を高く持ち、21世紀の社会に貢献できる自主・自立・自学・協同の精神に満ちた生徒を育成する。
重 点 目 標	1 授業の充実・指導改善 2 開かれた学校づくりの推進 3 学力の向上と希望進路の実現 4 品格ある生徒の育成 5 特別活動、部活動の充実と振興

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校関係者 4 名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				令和 6 年 度 評 価（3 月 1 9 日 現 在）		
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	授 業 の 充 実 ・ 指 導 改 善	- 教科全体で授業研究を一層進め、授業改善を一層図り、指導力向上に努める必要がある。 - 生徒による授業評価を教科全体で授業改善に生かしているとはいいがたい。 - 共通テスト問題を含め、大学入試問題の研究を教科全体で進める必要がある。 - 他校の情報を得る機会が依然として少ない。	- 授業研究週間を活用し相互に授業参観を行うとともに教科会で意見交換を行う。 - 校内で外部講師を招いての教科研修会を実施する。 - 生徒による授業評価を行い、その結果を教科会で共有し、改善を図る。 - 共通テストを含め、大学入試問題の研究を教科全体で進め、授業改善に生かす。 - 管理職全員による授業観察を実施し、教職員にフィードバックする。 - 他校への視察や研修会に積極的に参加し、授業の様々な手法を学ぶ。	- 授業研究週間による相互の授業参観の回数や教科会での意見交換の内容等。 - 管理職による授業観察の回数とフィードバックの内容等。 - 校内で外部講師を招いての研修が実施できたか。 - 生徒による授業評価の実施と教科で共有ができたか。 - 共通テストを含め大学入試問題研究を教科会で検討できたか。 - 他校への視察の回数と研修会等への参加状況。	- 相互の授業観察週間実施し、教科会で意見交換を行った。 - 管理職が全教職員の授業観察を行い指導助言を行った。 - 外部講師を招いての研修が実現できなかった。 - 生徒による授業評価の分析と大学共通テスト問題分析を教科で行い、レポートにまとめて共有した。 - 松山女子高校の訪問、教育センターへの研修に参加した。	B
2	開 け ら れ た 学 校 づ く り の 推 進	- 地元の小中学校や地域住民との交流が少しずつ進められている。 - 蔵・川口地区の地域に開かれた取り組みを一層進める必要がある。 - 組織立ててホームページの充実を図ることを検討する必要がある。 - 武南学園の魅力を一層発信することが大切である。	- 地元の小中学校と合同でコミュニティセンターでの交流や発表を実施する。 - 中学校訪問による情報提供の機会を広げ、入試情報の提供を行う。 - 組織として、ホームページの更新の機会を増やし、情報の発信に努める。 「武南学園だより」を発行して、武南学園の魅力を発信する。	- 小中学校との交流やコミュニティセンターとの連携が図れたか。 - 蔵市の催し物への参加回数。 - 中学校への学校訪問と情報提供の回数等はどれくらいであったか。 - 組織としてホームページを更新できたか。更新回数や閲覧状況等。 - 学園通信の発行回数と内容等。	- 吹奏楽部が蔵市内でXmasコンサートを実施し、市内小学校での招待演奏を行った。 - 吹奏楽部、書道部、合唱部、ダンス部、美術部が生涯学習フェスに参加出品。 - 蔵市青少年祭りにボランティアとして31名が参加した。 - 中学校 151 校を訪問し、28,587 部広報誌を配布した。	B
3	学 力 の 向 上 と 希 望 進 路 の 実 現	- 予習、復習を徹底する生徒の割合を一層増加させる必要がある。 - 生徒の家庭学習時間を増やすための取組が組織として進められていない。 - 希望進路の目標が高くなりつつある。 - 生徒の進路の幅が広がり、地方への国公立大学進学を希望する生徒が増加している。 - 教科等での組織的な講習の充実を図る必要がある。	- 生徒に「予習→授業→復習」を意識させた授業作りを一層進める。 - 教科、学年等で「週末課題」等の実施により家庭学習時間の増加につなげる。 「社会人から学ぶ」や、各コース別進路ガイダンスや説明会等を充実させる。 - 生徒の志を高めるために講演会やセミナーを企画する。 - 進路指導部と教科で組織的に実効性のある講習会の検討を行う。	- 家庭学習時間の増加の割合。 - 各種講座や説明会の実施回数とアンケート結果。 - 講習の講座数と生徒の参加状況。 - 講演会やセミナーを実施した時の参加者の人数や効果。 - 一般受験の生徒数と国公立大学の志願者数。 - 国公立大学、難関私立大学の合格者数。	- 通常講習 全 23 講座 200 名。夏期講習全 73 講座、1,672 名が参加した。一層、組織的講習体制を構築する。 - 進路ガイダンス 12 回実施し、進路意識の高揚を図った。 - 国公立大学志願者数 87 名 - 一般受験志願者数 296 名 - 国立大学合格者数 42 名 (29) - 早慶上理大合格者数 12 名 (22) - G M A R C H 合格者数 97 名 (96) (2025/4/1 現在)	B
4	品 格 あ る 生 徒 の 育 成	- 明るくさわやかな挨拶を徹底するよう引き続き指導することが必要。 - 生徒指導心得の見直しの検討が必要。 - 日常の学校生活の中での整容指導や遅刻指導を一層進める必要がある。 - ネットモラルの構築や、それに関わるいじめを許さない指導の徹底を図る。 - 心の不調を訴える生徒が多い。	- 登校指導をはじめ、全教職員が率先してあいさつの励行に努める。 - 生徒指導心得の見直しの検討を行う。 - 整容指導は、日常生活の中での指導を徹底する。 - ネットモラルの講義をはじめ、ホームルーム等で指導の徹底を図り、ネットいじめに繋がらないよう努める。 - 担任、スクールカウンセラーや教育相談員との連携を図って指導する。	- 生徒は明るく爽やかな挨拶ができるようになったか。 - 生徒指導心得の見直しのための検討が進められたか。 - 服装頭髮といった整容指導は徹底できたか。 - 生徒指導件数、ネットトラブル件数はゼロであったか。 - 遅刻指導の減少が図れたか。 - 教育相談室での相談件数の減少。	- 明るくさわやかな挨拶ができるようになっている。 - 生徒指導心得の検討は進んでいるが実現に至っていない。 - 生徒指導 6 件、ネットトラブルでの指導 1 件。 - 頭髮指導の実施において学年ごとに差ができています。 - 遅刻指導数 26 人(昨年比+6) - 教育相談の相談件数は、延べ 189 件 (生徒 157 保護者 92)	B
5	特 別 活 動 ・ 部 活 動 の 充 実 ・ 振 興	- 部活動で「自主, 自立, 自学, 協同」の精神の涵養を図る必要がある。 - 部活動に偏り、勉強と部活動の両立が図れていない生徒が見られる。 - 運動部のみならず、文化部の振興を図る。 - 文化祭、体育祭の実施により、学校生活への意欲や学園への帰属意識を高める必要がある。 - 海外修学旅行が実施できていない。	- 生徒各々が自主的・計画的に時間を管理できるよう指導する。 - 部活動休養日の設定による家庭学習時間の確保と部活動の活性化を図る。 - 管理職による部活動見学を行い、実態の把握と支援を行う。 - 文化祭、体育祭は段階的に保護者を入れての実施を目指し、生徒の学校生活への意欲や学園への帰属意識を高める。	- 部活動の加入率と参加状況。 - 部活動加入生徒の学習の成績状況はどうであったか。 - 関東大会、全国大会の出場者数と前年度の活動結果を上回った部活動数。 - 文化祭、体育祭の実施状況。 - 文化部の活動状況と各種大会等への参加状況。 - シンガポール修学旅行の実施状況と生徒の満足度。	- 部活の加入率 88.1% (+0.1) - 関東大会（柔道、陸上、ダンス、水泳）全国大会優勝 2 大会（ダンス部）インターハイ優勝 3 種目（水泳部）インターハイ出場(陸上部、柔道部) - 書道部-読売書法展入選 化学部ロボカップ全国大会出場 - 文化部の活動が活発になる。 5 年ぶりに海外修学旅行（シンガポール）実施した。	A

学 校 関 係 者 評 価
実施日 令和6年3月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等
- 授業改善で観察週間に他教科も観察して視点を変えた捉え方をすれば、新たな授業展開に繋がる。 - 共通テストの分析は評価できるので、それをどのように活用して授業に活かすか工夫が必要である。 - 主要科目以外も考察や検討が行われているので、今後も継続してください。 - 外部講師による教科研修会の一部の教科だけではなく幅広く実施して欲しい。 - 生徒からの授業評価を活かす工夫をお願いしたい。
- 学校からのSNS等による情報発信はリスクを伴うので注意深く進めてほしい。 - 武南高校との連携は取れているので教員、生徒の新たなコミュニティ作りを進めたい。 - ホームページは見応えがある。また、「進路通信」は高校の指導の様子が分かり参考になる。 - クリーン作戦の地域拡大を検討してもらえるとありがたい。
- 進路ガイダンスに外部講師を活用して生徒の意識を高めている点が評価できる。 - 生徒の希望に合うように地方の大学にも目を向け生徒に寄り添った指導がよい。 - 生徒に多くの選択肢を与えている。タブレットの活用などの成果が出ている。 - 指定校を目指す生徒たちの実力を上げて一般受験でも合格できるよう御指導いただきたい。
- 生徒指導にも、個人の尊重や多様性の理解が必要である。また、保護者の様々な考え方やコンプライアンスに基づく指導が求められている。その点に配慮をし、成人となっていく生徒たちを指導してもらいたい。 - 生徒は明るく元気な挨拶ができていて好感が持てる。 - スクールカウンセラーの役割が高まる中で、生徒が相談しやすい環境作りをお願いしたい
- 部活動では、十分に成果を出しており、活躍していて素晴らしい。 - 卒業式で部活動で表彰される生徒が多かった。注目される部だけではなく、文化部の活躍にも期待している。 - 勉強と部活動が両立できるような指導体制を取ってもらいたい。